

帯広市内の主な街路樹

主な樹種（本数の多い10種）

イヌエンジュ（犬槐）

マメ科の落葉広葉樹。成長すると高さ15mほどになります。若葉は銀白色で美しく、その後深緑色になります。名前にエンジュとついていますが、エンジュは中国産で別な種類です。イヌとはエンジュより劣っているという意味です。

主な植栽路線：柏林台通線（西18南1～西24南1）

南8丁目東線（東8条南8丁目～大通南8丁目）



イタヤカエデ（板屋楓）

カエデ科の落葉広葉樹。成長すると高さ20mほどになります。葉は手のひら状でふちにぎざぎざがないのが特徴。若葉は緑色、秋には黄葉します。プロペラ状の羽がついた種子をつけます。

主な植栽路線：公園東町・1号線



ヤマモミジ（山紅葉）

カエデ科の落葉広葉樹。大きなもの高さ10m以上になります。秋に美しく紅葉します。

主な植栽路線：公園東通線、東1条線、南5丁目東線

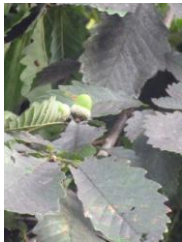


ハシドイ モクセイ科の落葉広葉樹。高さ 10mほどになります。夏に黄白色の花をつけます。ライラック（ムラサキハシドイ）の仲間。ハシドイとは、花がたくさん集まって咲くという「端集い（はしつどい）」からきた名だと言われています。	
主な植栽路線：北 1 線線	
ナナカマド（七竈） バラ科の落葉広葉樹。大きなものは高さ 10m 以上になります。北海道を代表する緑化樹のひとつで、市町村の木に指定しているところが多い樹木です。燃えにくく七度かまどに入っても燃え残ることからナナカマド（七竈）と名がついたと言われています。	
トチノキ（栃の木） トチノキ科の落葉広葉樹。成長が早く大きなものは高さ 20m 以上になります。大きな手のひら状の葉を付けます。直径が約 3~5cm の表面がでこぼこした実をつけます。タネは渋抜きをすれば食べられるが、かなり手間がかかります。	
主な植栽路線： 西 5 号南丙線（共栄通） 西帯広団地・ 1 号線、南 16 丁目東線	

ニセアカシア（別名ハリエンジュ（針槐）） マメ科の落葉広葉樹。北アメリカ原産で高さ20m以上になります。蜜源植物のひとつで、白い蝶のような形をした花がたくさん集まって房状につきます。枝に鋭いトゲがあることからハリエンジュとも呼ばれています。ニセアカシアとはアカシアに似たという意味です。	
主な植栽路線：新緑通（西5条13丁目～西16条4丁目）	
イチョウ（銀杏、公孫樹） イチョウ科。針葉樹の仲間で落葉します。成長すると高さ25m以上になりますが、道内では15～20mです。中国原産で、古い時代には多くの種があり化石で発見されるため、生きた化石と云われていますが、現在は1科1属1種で仲間はいません。成雌雄異株で、雌木には銀杏がなり、秋に黄葉します。	
主な植栽路線：南5線甲線（常磐通）、柏・東11条甲線	
ネグンドカエデ（トネリコバノカエデ） カエデ科の落葉樹。北アメリカ原産で高さ10～15mになります。翼のある果実をつけます。 別名トネリコバノカエデは、モクセイ科のトネリコに似た葉をもつカエデの意味です。	
主な植栽路線：東2条甲線（東2条16～26丁目）	

シダレヤナギ（枝垂柳） ヤナギ科の落葉広葉樹。中国原産で、大きなものは高さ 20mほどになります。枝が細く、葉が長く垂れ下がるため、シダレヤナギ（枝垂柳）と呼ばれます。	
主な植栽路線：西南大通、競馬場通、東 3 条甲線	

その他の樹種	
カツラ（桂） カツラ科の落葉広葉樹。大きなものは高さ 20m以上になります。春の新緑や秋の黄葉が美しく、落葉には甘い香りがあります。	
主な植栽路線：西 7 条南乙線（西 7 条南 12～16 丁目）	
アズキナシ（小豆梨） バラ科の落葉広葉樹。成長すると 20mほどになります。葉の形が大きく違いますが、ナナカマドの仲間です。ナシに似た白い花を咲かせ、小豆のような赤い実をつけます。	
主な植栽路線：南 10 丁目西乙線（西 6～8 条南 10 丁目）	

ミズナラ（水榭） ブナ科の落葉広葉樹。高さ 20～30mになります。葉のふちに大きなぎざぎざがあり、長さ2～3cmの堅果（ドングリ）をつけます。材に水分が多いことから名がつけられています。	
主な植栽路線：柏通（東8条南6～21丁目）	
シラカンバ（白樺） カバノキ科の落葉広葉樹。高さ 15～20mになる北国を代表する樹種のひとつです。樹皮は粉白色で樹液に甘味があります。	
主な植栽路線：西帯広団地・新緑通線	
プンゲストウヒ マツ科の常緑針葉樹。北アメリカ原産で高さ15～20mになります。葉は青緑色や銀白色のものもあります。自然樹形はきれいな円錐形で、北国らしい樹木の1つです。	
主な植栽路線：公園大通、公園北通線	